

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 2 枚)

			氏 名	一色 真一
発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			干拓町の耕作不可能地への課税について 令和6年能登半島地震による被害で、干拓町では約 25 haの田んぼが耕作不可能となった。米が作れず請負耕作者には収入がないため、農地所有者に賃借料を支払えず、農地所有者は賃借料を固定資産税などに充てているため、固定資産税が支払えない状況となっている。 このような場合、救済する制度はないのかを問う。	
2			加賀温泉駅周辺施設整備事業について 議会ごとに整備事業費が膨れ上がっている。財政難の折、ガレリア構想は撤回して、身の丈に合った財政規模にすべきだ。財政の健全化にかじを切るべきではないか。所見を問う。	
3			加賀市版ライドシェアについて 市長提出議案説明では、24 名のドライバーが登録し、利用は 245 件とのことであるが、この数字をどのように評価しているのか。所見を問う。	
4			未来型商業エリアについて 3月定例会での答弁以降の事業の経過について説明せよ。特に、土地所有者との協議はどこまで進んでいるのか。また、その現状を見たうえでの今後の見通しを問う。 市長提出議案説明では、第二期石川県基本計画において、「特に重点的に経済活動を牽引する事業の促進を図るべき区域」に位置付けられたため前に進めることが可能となったと言っているが、土地所有者の意向を尊重したうえでの発言なのか。	
5			片山津温泉総湯について（持ち込み資料 No. 1） 利用者の声を聞くと、片山津温泉総湯だけではなく片山津温泉そのもののイメージダウンを心配する。 「駐車場から玄関までのアプローチが長い坂道で、さらに手すりが角張っていてつかみづらく、お年寄りにはきつい」、「地震で傷んだ床に長期間コーンが置かれていた」、「脱衣場に貴重品用ロッカーはあるが、脱衣ロッカーに施錠設備がない」、「脱衣場に椅子が少なく、くつろげる場になっていない」などの声がある。利用者は「利用者の声が上に届かない。いつまでもほったらかしだ。」と嘆いておられた。 このような改善の要望を把握しているのかを問う。また、把握しているとすれば、早急に改善すべきではないか。所見を問う。	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

			氏 名	一色 眞一
発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
6			レッジョ・エミリア・アプローチについて 2001 年度（平成 13 年度）に石川県保育所保育士海外研修があり、加賀市の保育士がレッジョ・エミリア市で教育理論の研修を受けているが、当時の参加者から、「その後、短期間、レッジョ・エミリア・アプローチに取り組んだことがあるが、保育士の異動がある公立保育園では取り組むのが難しいと分かった」という意見を聞いている。 3 月定例会の同僚議員への答弁では、「有意義なことだ、必要だ」と述べているが、そもそも 20 年前に取り入れられなかったものを、なぜ今になって取り入れたのか、その根拠を問う。 レッジョ・エミリア・アプローチを取り入れて、保育現場が混乱、疲弊しては本末転倒だ。子どものためにもよろしくない。このまま継続していいのか疑問に思う。見直しが必要ではないか。所見を問う。	
7			加賀市医療センター小児科について 市内で唯一、一般小児科の入院を受け入れてきた加賀市医療センターが、4 月から小児特有の病気の入院は他院へ依頼しているとのことであるが、現在の状況を問う。 加賀市で小児科の入院ができなくなることはあってはならないことであり、子どもを持つ市内の親御さんの不安を払拭することが何より大事である。今後、二度とこのようなことが起こらないよう確かな手だてを講じる必要があると思うが、所見を問う。 あわせて、今秋までに常勤医師の派遣を金沢大学にお願いしているようだが、その見通しを問う。	